

社会貢献活動

基本理念:トヨタは「国際社会から信頼される良き企業市民」を目指し、国内はもとより北米、欧州、アジアなど当社が事業を展開している地域を中心に、さまざまな社会貢献活動を展開しています。科学技術振興や交通安全啓発をはじめ、芸術・文化支援、地球環境保全、ボランティア、地域社会活動など、その活動領域は多岐にわたっています。トヨタではこうした活動を、社長を委員長に関連役員で構成される「社会貢献活動委員会」のもと、国内外の関係各部署が連携して推進しています。国内では1990年から、日本経済団体連合会が主宰する「1%クラブ」に参画し、毎年利益の一定額(単独経常利益の1%相当)以上を社会貢献活動に充当しています。



モビリティの安全運転講習会

国内での活動:国内では「科学技術の振興」、「芸術文化の普及」、「地球環境の保全」の3分野を重点活動テーマに掲げています。「科学技術の振興」では、子供たちに科学の不思議やモノづくりの楽しさを伝えるため、ボランティア社員を全国各地の科学館や科学イベントに派遣し、科学工作教室を開催するなどの活動を推進しています。「芸術文化の普及」では、芸術・文化に関わる人材の育成、裾野の拡大、地域文化の活性化に取り組んでいます。アマチュアオーケストラを支援する「トヨタコミュニティコンサート」をはじめ、次代を担う振付師を発掘する「トヨタコレオグラフィーアワード」、子供の豊かな価値観や感性を育てるためにアーティストを学校や児童館等に派遣して授業を行う「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」などを開催しています。「地球環境の保全」では、地球温暖化防止に役立つ環境緑化プログラムや環境啓発のための教育活動を実施しています。

この他当社では、2005年4月にリニューアルオープンした富士スピードウェイ内に、トヨタ交通安全センター モビリティを開設しました。これは、交通安全啓発活動の一環として1987年より展開している安全運転講習会「トヨタ ドライバーコミュニケーション」を定常的に開催する専用施設で、モビリティ社会の究極の目標である「交通事故死傷者ゼロ」に貢献することを狙いとしています。

海外での活動:海外では北米、欧州、アジアを重点地域とし、「環境」、「教育」分野を中心に活動を進めています。北米では、全米家庭教育センター(NCFL)がアメリカ各地で展開する「親子教育プログラム」を1991年から支援しています。さらに中南米スペイン語圏などからの移住者を対象にした「トヨタ・ファミリー・リテラシー・プログラム(TFLP)」も立ち上げました。欧州では、欧州26カ国の赤十字社による子供向け交通安全、救命・応急手当教育キャンペーンの支援やイギリス、チェコ、ポーランドの3カ国では現地NGOと協力して環境教育プログラムを展開しています。アジアにおいては、中国での砂漠化防止に向けた植林活動の支援やマレーシアでのセカンダリースクールを対象にした「環境改善プログラム」を実施し、タイ・カンボジアでは人道目的の地雷除去活動を行うNPOへの支援を行っています。

この他にもトヨタでは、豊かな社会づくりと社会との共生を目指して地域や行政、NPO等と連携した多様な社会貢献プログラムをグローバルに展開しています。



北米の親子教育プログラム